

都市生活生協支援

第15号  
1995.8.8

# 救援ニュース

都市生活現地救援本部  
西宮市今津山中町9-9  
電話：0798-36-6679

## 大青空市

# 元気野菜でみんな元気に！！

7/29 近畿圏の生産者が  
六甲アイランドで

“みんな元気に！”の祈りを込めて

オレンジコープ 野中さん

仮設住宅に住む方々に、「新鮮な野菜や果物で食欲不振の夏を乗り切ってもらおう」と、7月29日、六甲アイランドパーク駅北第一・第二仮設住宅付近で野菜青空市が開かれました。当日の会場は、もともと公園用地だったのか、マンション建設用地だったのか、広い空き地一帯に軒を並べる仮設住宅群のすぐそば。

オレンジコープからは生協農園の野菜をトラックに積み、午前9時過ぎに出発しました。現地では各生協のみなさんが野菜の荷下ろしや値段付けなどの作業中。開始予定時間の12時までにはまだ時間があつたのですが、野菜を

持って離さない人・人・人…。あまりの混雑ぶりに予定を15分早めて即売を開始。また同時に行った鶏の空揚げ、豚の丸焼きにも長蛇の列。午後2時近くになってやっと人の列が少しづつ途切れ青空市が終わりました。

「買い物に行くのが不便で、野菜はあまり食べていない。今日はいっぱい野菜が食べられる」と喜んでくれた年配の主婦の方。「キュウリもみを作ってお友達にも分けてあげたのもう一袋」と再度訪れてくれた方。「暑い中ありがとう」と声をかけてくれたお婆ちゃん…。本当に暑い一日でしたが、たくさんの人たちと出会うことができ、「元気野菜でみんな元気に！！」の祈りを込めて会場を後にしました。

## 豚の丸焼き、鶏の空揚げも

酷暑の中でも大盛況！

西部生協 松山佳子さん

“12時開始です”という呼びかけにもかかわらず、11時半頃には商品をならべたテントのまわりには黒山の人だかり。15分程前に販売が開始されました。買い物袋を持っていない人が多く、用意したカゴも数がたりず、ダンボール等で代用しましたが、それも追いつかないほど盛況でした。またレジが2ヶ所しかなく、一時に大勢の人に対応しきれなかったようです。

果物、野菜類はとても評判がよく、モモ、ブドウ、インゲン、ピーマン、

葉物等はすぐに売り切れ。“トマトを買ってかえって食べたるとてもおいしかったので又買いにきた”とか、穴のあいたキャベツの葉を見て“これ、安全でおいしいのよ”という言葉も聞かれました。また仮設住宅で調理のしにくいトリのカラアゲも人気で、長い長い列ができました。

炎天下の中、作る人も並ぶ人もご苦労様でした。酷暑の中どれだけの人が集まるのだろうかと思つていましたが、私の予想をはるかに上回る人出で、神戸の人達のバイタリティーを感じました。

♡現地救援本部♡

## INFORMATION

現地救援本部の引越！！

新物流センターの開設にもなつて現地救援本部も8月28日に移転します。新しい事務所（救援センター：仮称）の住所は次の通りです。

西宮市津門西口町7-2

（昔の西宮センターがあつたところ）

なお詳しいことは次号の紙面で。

現地救援本部の夏休み！！

8月10日～20日の間は救援本部の活動をお休みにさせていただきます。

より安全で美味しい野菜を

～生産者からの声～

愛菜倶楽部 大谷隆治さん

産地直送野菜の即売会に生産者の一人として参加しました。35度を超える気温、トタンぶきで少しの空間もなく一面に立ち並ぶ仮設住宅、クーラーは付いているものの大変な暑さだろつと思つます。そしてお年寄りの多いのには驚きました。

そんな人達への野菜の即売。暑さの中、汗を流しながら時間を待ち切れず、早く売ってほしいとねだるおあばちゃん、「野菜が手には入らないので大変助かります。又こんな催しをしてほしい」と云つておられた老夫婦、そんな人達のためのボランティアに積極的に参加されている生協職員、組合員さんの姿を見て、私はより安全で美味しい野菜作りに一層努力し、又こんな企画があれば是非参加したいと思つております。



7月30日付 読売新聞朝刊より

## 橋公園ミニ祭り

# 祭りの主役は子供たち

7/27 尼崎にて

去る7月27日、尼崎市内の橋公園で仮設住宅との交流を目的としたお祭りが開かれました。もちろん主催は都市生活の組合員さんですが、当日の主役は子供さんたちでした。わらびもち、ホットドッグ、お手製カルピス、かき氷などの屋台が出ましたが、これらを作ったのも売ったのも小中学生の皆さんでした。さらに祭りのフィナーレとして大阪東部生協の森さんによる紙芝居が行われて、子供達は大喜び。仮設の皆さんとの会話も大いに弾んだ一日でした。

### 声をはりあげた青空市

小学4年生 河原たかえさん

私にとって二回目のボランティアでした。前の時とくらべると買いに来る人が多かったのでびっくりしました。暑かったけど都市生活のみんなもガンバッテいるので私もいっしょうけんめいガンバリました。拡声器で、「無農薬野菜が安くておいしいですよ。ウインナーも無添加でおいしいですよ。」と言うと、たくさんの方が買ってくれました。私はうれしくなりました。

お金のかんじょうが終わり、「なたね油か石けんをサービスでさしあげているんですけど、どっちにしますか」と聞くと、「少ししか買ってないのいいの、悪いなあ」と言ってくれる人もいました。

私は毎日でもいいからボランティアしたいなあ、だってあんなに喜んでもらったら私もうれしいもん!

### わらびもちをぼくが作った!

小学四年生 落合厚志くん

7月27日の3時30分、ぼくは青空市のあるたちばな公園に行きました。そのとき、おかあさんといっしょに行きました。もうみんないっばいきていました。

ぼくはわらびもちを作りました。わらびもちは、はじめ牛にゆうみたいに白くて、かんたんにまぜれたけれど、だんだんかたくとう明になってきました。そしてもう力がなくなって、ほかの人にかわってもらいました。

それから女の子と仮設住宅に行くと、「みなさん、わらびもちを無料でサービスしています。どうぞ公園に出てきてください」と言っていたら、「こらこら」とおこられてしまいました。なんでおこられたかわかりません。でも何人も出てきてくれました。

ぼくはカルピスを3杯とホットドッグを一ことかきごおりを食べました。それから紙しばいを見ました。とってもおもしろかった。

## 現地救援本部 新スタッフ紹介

グリーンコープ連合

齋藤秀一 (35)

グリーンコープ連合・役員室の齋藤と申します。震災から半年経ち、少しずつ復興は進んでいることと思いますが、家屋の半壊や全壊により仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされている方が数多くおられると聞いています。都市生活生協の方々を初めとして、多くのボランティア団体の皆様、あるいは各自治体の皆様の地道な復興活動には全く頭の下がる思いで一杯です。そのような中、わずか10日間という短期間に加えて誠に微力ではありますが、ほんの少しでもお役に立てることができれば幸いです。老体に鞭打ってがんばる所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

生活クラブ生協神奈川

白駒 浩平

今回の震災ではとても多くの方が犠牲になり、また困難な生活を余儀なくされている方も大勢いらっしゃると思います。今まで築きあげてきたものを一瞬にして破壊してしまう自然の力のすさまじさを見せつけられました。

一方で、被災地から遠く離れた地でテレビ映像などで見ている限りでは、正直いってどこか遠い国での出来事のようにしか受け取れないのも事実です。

今回短い期間ではありますが、少しでも被災地の皆さんの思いを感じることができればと思っています。

## ♡♡自分も楽しめば……♡♡

皆川 浩子さん

阪神大震災があつてから、私は個人的に近くの小学校の体育館に差し入れに行ったりはしていたけれど、7月27日に行ったような団体でのボランティアは初めてでした。はじめは何か少しでも役にたてたらと思い、友達に誘われて参加して、何をしたらよいか分からなかったりしたけれど、慣れてくると自分のすべきことが分かってきて、思ったよりも自分が明るい気持ちで、お店に来てくれた人達とふれ合

えたことがとてもうれしかったです。

仮設住宅で決して良くはない生活をしている人達が、少しでも楽しい気持ちを持ってくれたら、と思っていたけれど、自分も楽しんでやらないと人を楽しい気持ちにはできないものだなと思いました。

このボランティアに参加したことで、わたし自身も少し成長したと思います。またこんな機会があったらぜひ参加したいです。

## 事務ボランティア募集

都市生活生協現地救援本部と交流のある「東灘・地域助け合いネットワーク」が週に2日程度の事務を手伝える方を募集しています。《茶話(さわ)やかテント》活動や東灘区内の「ふれあいセンター」運営をされていて、事務所は東灘区役所中庭にあります。東灘区内の人に限りません。問い合わせは代表幹事の中村順子さんまで。電話078-843-4029。